

平成27年  
10月16日発行  
No.86

# ろくへの 議会だより

■編集／六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60

TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112

ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

Eメール [gikai@town.rokunohe.aomori.jp](mailto:gikai@town.rokunohe.aomori.jp)



## よし!がんばるぞ!!

9月4日から6日まで、六戸秋まつりが行なわれました。

自作の山車や太鼓の競演、仮装大会など各町内会が参加し、多くの人々が訪れました。

写真はひのでこども園のマーチングバンドから指揮者を見ながら一生懸命に太鼓を叩く姿が印象的  
(撮影日：9月6日)

**[26年度決算]**

**みんなの“足”に重点整備！…………… 2**

**[決算特別委員会]**

**決算を慎重に審査…………… 4**

**[一般質問]**

**3人の議員が質問…………… 8**

**[研修視察] 八戸圏域水道企業団へ**

**六戸町の水道はどこから？… 11**



9台収容しているバス車庫

# 点整備!

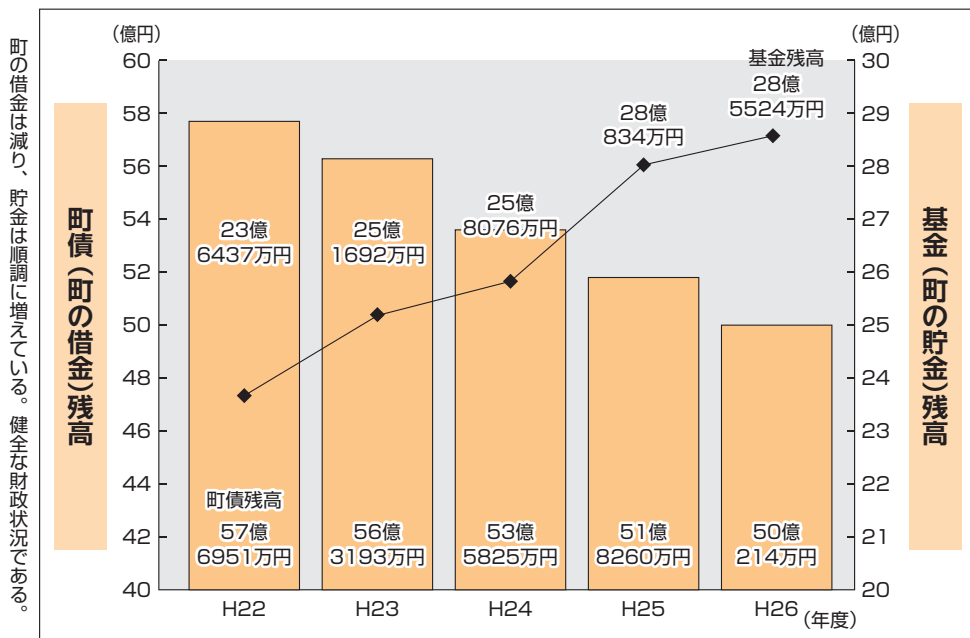


UP  
前年度より7000万円

一般会計の歳出決算は  
51億3735万円

建設・道路舗装工事など～

9月定例会が、9月2日から10日までの日程で開催されました。  
平成26年度の一般会計、各特別会計の決算では、決算特別委員会を設置し、詳細にわたり審議した結果、すべての会計を原案のとおり認定しました。  
このほか、平成26年度健全化判断比率の報告をはじめ補正予算4件や条例案件、人事案件など6件を原案のとおり可決、同意しました。  
一般質問は、9月7日に行われ、3人の議員が質問しました。



町の借金は減り、貯金は順調に増えている。健全な財政状況である。

## 町長から報告された財政健全化比率を紹介します

### ○ 実質公債費比率

25年度 13.3 %  
26年度 12.4 %

早期健全化基準 25.0 %

※ 数値が大きいくほど経費や借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

### ○ 将来負担比率

25年度 21.8 %  
26年度 12.0 %

早期健全化基準 350.0 %

※ 数値が少ないほど将来の負担が少なくなります。  
(借金の支払いなどが減っていく)

## ● 主な実施事業

<b>町民バス運行関連事業</b> バス車庫建設工事、バス購入など	1億 272万円
<b>道路舗装関連事業</b> 船場川原・上町線道路舗装工事ほか	1億3536万円
<b>消防関連事業</b> 消防団第6分団消防ポンプ自動車製造工事ほか	3785万円
<b>学校建設関連事業</b> 七百中学校講堂防音事業改築設計業務ほか	1767万円

## 財政運営や財産管理ともに適正

### 監査意見

平成26年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計は、適正水準にあり、健全な財政運営だったことが見受けられる。  
なお、次の項目について留意が必要である。

#### ・適切な徴収を

収入未済額については、財源確保や利用者負担の公平性・公正性から、より一層債権管理を強化し、適切な徴収を望む。

#### ・着実な経営改善努力を

国民健康保険病院事業特別会計  
前年度より入院・外来患者の減少に伴い、収益の減少となった。  
今後、当病院が地域における医療機関としての役割を継続していくためには、更なる経営の健全化が必須であり、今一度、経営状況を精細に分析し、着実な経営改善努力を望む。



米内山 功 代表監査委員(右)と母良田 昭 監査委員(左)

平成26年度  
決算

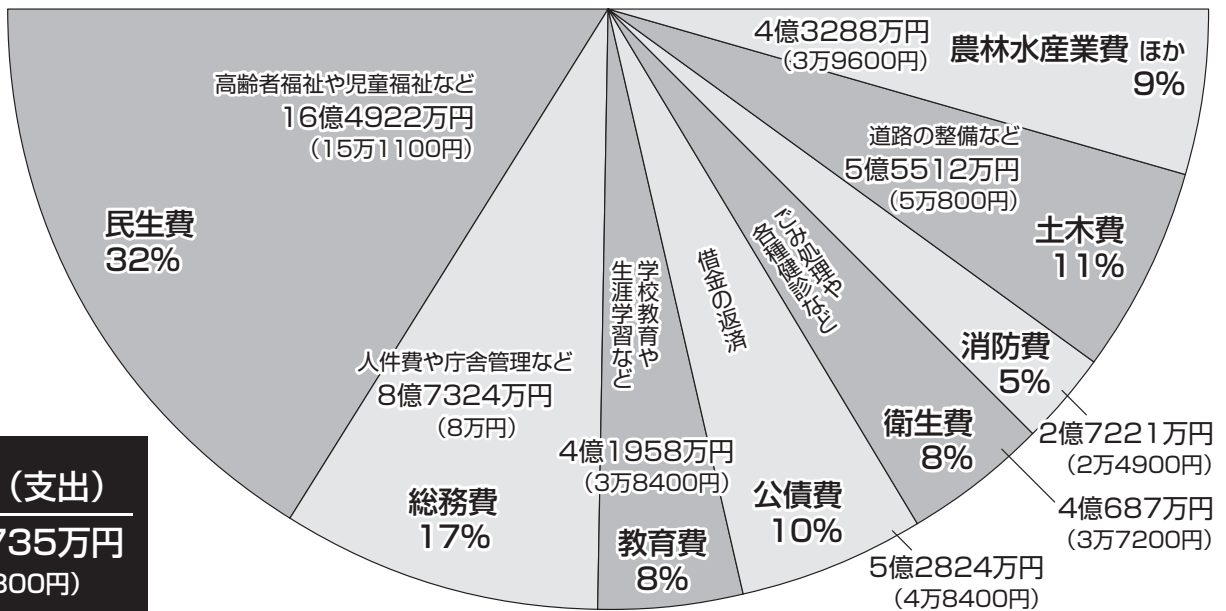
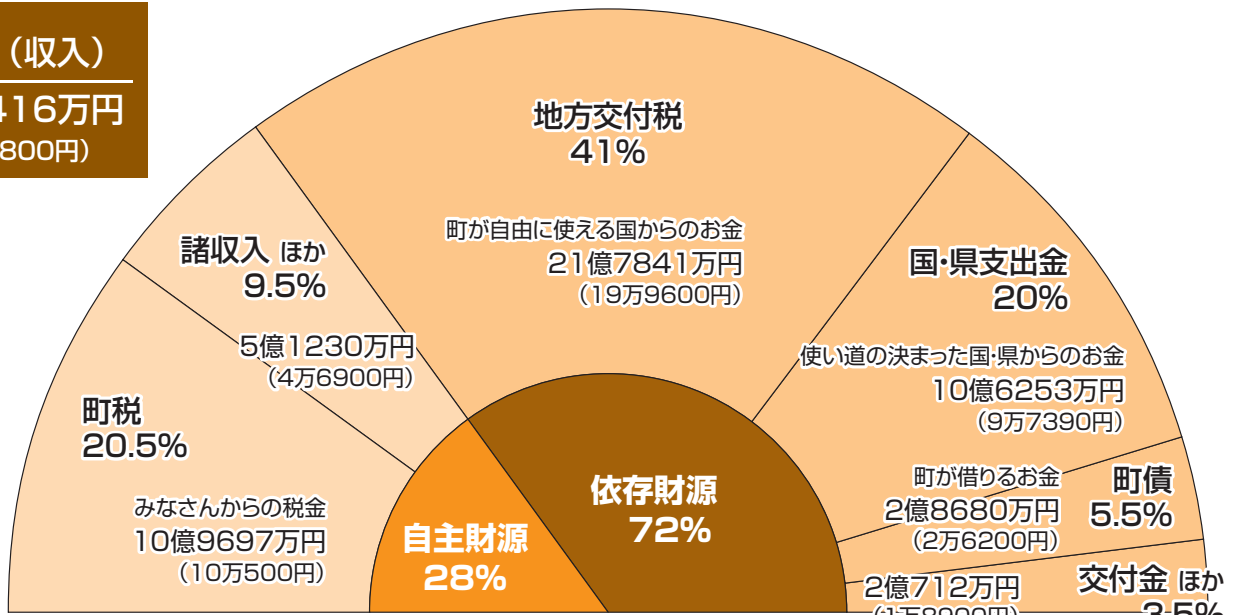
# みんなの足に重

～町民バス車庫

金額は千の位で四捨五入してあり、合計にあわせて一部端数調整しています。  
( )内の数字は、人口1万910人(平成27年3月末日現在)で割った町民一人あたりのお金です。

## 歳入(収入)

53億4416万円  
(48万9800円)



## 歳出(支出)

51億3735万円  
(47万800円)

貯金は28億円

26万

町民一人  
あたり

借金は50億円

45万

決算収支は

黒字になりました

残ったお金 2億681万円

会計名	貯金(基金)	借金(借入金)
一般会計	26億404万円	50億 214万円
特別会計・その他	2億120万円	36億4203万円

27年度の特定の事業へ	8031万円
基金に積み立て	1億円
27年度に繰り越し	2650万円

平成26年度

算別会  
決特委  
員会

# 一般会計・特別会計

# 慎重に審査

平成26年度一般会計、各特別会計の決算認定に伴う決算特別委員会（高坂茂委員長）を設置し、9月8日・9日の2日間の日程で審査が行われました。

みんなの税金、きちんと使われていますか？

## 一般会計

### 歳出

### 総務費

問 下田敏美 委員

ふるさと納税が43万円だが、あまりに少ないと感じる。ふるさと納税寄附謝礼に魅力のある六戸町の特産品である和牛も検討しては

答 棟方企画財政課長

現在は町の特産である野菜セットの詰め合わせを提供しています。過剰な返礼品は遠慮してほしいと国の指導があるため、高額なものも考えていませんが、予算の範囲内でできるようにあれば検討します。

質疑では、様々な意見や要望が委員から出され、予算がどのように使われたのかを慎重に審査し、すべての会計を認定と決定しました。主な内容を要約して掲載します。

問 杉山茂夫 委員

ふるさと納税寄附謝礼で6件とあるが、どういう形で謝礼になったのか。また、納税金額によって品物の違いはあるか

答 棟方企画財政課長

野菜セットは2千円前後を想定しており、納税額に応じてではなく、同じ内容の贈答品です。

問 河野 豊 委員

徴税費の不納欠損状況について、「その他」の割合が高い。内訳は

答 円子税務課長

倒産した会社が長きにわたって所有していた土地について、徴収不可能と判断し、不納欠損したために金額が大きくなっております。

問 下田敏美 委員

マイナンバー制度がよく分からないと周りから聞いている。町民に対して説明会を設けては

答 下田総務課長

国や関係機関からの情報については、まだ不確かな部分が多く、こちらも説明できない部分があるため、今のところは説明会の予定はありません。テレビや新聞でご覧いただきたい。

### 衛生費

問 河野 豊 委員

ごみ不法投棄等監視業務で132万円支払われている。おおむね何日くらいの日数で動いたのか



**答 小林町民課長**

4月から11月まで、シ  
ルバー人材センターに委  
託しています。毎週2回、  
2人1組体制で巡回をし  
ています。

町内全域を歩き、不法  
投棄がある箇所を重点的  
に回っています。

**問 河野 豊 委員**

去年から運用を始めた  
不法投棄防止用等監視カ  
メラだが、効果はいかほ  
どか

**答 小林町民課長**

昨年4台購入しまし  
た。不法投棄があった場

**土 木 費**

**問 山本 実 委員**

原告が町で係争中の官  
庁街線道路の件は、現在  
どのような状況になつて  
いるのか

**答 松村建設下水道課長**

裁判官から和解の勧告  
があり、原告、被告の双  
方の和解条項案について  
検討中です。

**答 吉田町長**

和解をするということ  
で調整している段階です  
ので、近々にはご理解い  
ただけるような結果が出  
てくると思います。



決算特別委員長 高坂 茂



**26年度各会計決算額**

会計の種類	歳入	歳出	差引額	
一般会計	53億4416万円	51億3735万円	2億681万円	
特別会計	国民健康保険事業	13億4668万円	13億4136万円	532万円
	国民健康保険病院事業	5億6004万円	6億3004万円	▲7000万円
	下水道事業	2億8635万円	2億8635万円	0
	農業集落排水事業	1億2850万円	1億2850万円	0
	介護保険事業	13億6356万円	13億4593万円	1763万円
	後期高齢者医療	9766万円	9689万円	77万円
	霊園事業	914万円	914万円	0
合計	91億3609万円	89億7556万円	1億6053万円	

# 町政を預かる町長の責任

## 吉田町長は給料を1割減額

### 条例改正

◇ 六戸町長等の給料の特例に関する条例

元町職員が大卒と学歴を偽り、6年にわたって勤務していたことがわかった件で、吉田町長は、職員の管理監督者として、また町政を預かる町長としての責任を明らかにするために給料月額を1割減額します。

(平成27年10月1日から12月31日まで)



登壇で話す吉田町長

### 工事契約

◇ 七百中学校(講堂)防音事業改築工事

七百中学校の講堂について、防音の改築工事を契約します。工期は平成28年8月31日までです。  
・契約先 上北建設㈱

・金額

3億6180万円



七百中学校講堂予定地

### 審議内容

岡 山本 実 議員

町長の給料の特例に関する条例改正案について、責任のとり方として100分の5が適切だと思っ

答 吉田町長

ありがたい話ですが、事務サイドとしてのミスがあったことに対してのもの。  
総括的責任者として判断しました。

▽土木費

岡 山本 実 議員

町営桜ヶ丘住宅の解体工事ほかに100万円とあるが、詳細は。将来、この住宅跡地はどのように考えるか

答 松村建設下水道課長

1人の入居者が退去となりましたので1戸解体します。

答 吉田町長

現在、まだ住んでいる方もいるので、具体的には決まっていませんが、地域の交流的な意味合いの活用になるかと思いません。



現在の町営桜ヶ丘団地

## 人事案件



◇ 固定資産評価審査委員  
吉田 恒紀さん (任期 3年)  
(昭和20年生) 大字上吉田字上吉田235番地

固定資産評価委員とは…

固定資産課税台帳に登録された価格に不服があるときに審査・決定する機関です。公平・中立な第三者機関として設置されています。



傍聴席から見た議場

まちの将来がわかる  
議会傍聴、  
ぜひでするか？

次回は12月に定例会があります。  
詳しくはこちらまで

☞ 議会事務局 ☎55-4547(直通)

# 審議した議案と各議員の



賛成が○、反対は×と表示しています。  
 円子徳通議長は採決には加わりません。

議案番号	議案名	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	議決日
報告11	平成26年度青森県新産業都市建設事業団特定事業及び特定事業以外の事業の決算報告について	※採決はありません										報告済	9月10日
報告12	平成26年度六戸町健全化判断比率の報告について	※採決はありません										報告済	
報告13	平成26年度六戸町資金不足比率の報告について	※採決はありません										報告済	
認定1	平成26年度六戸町一般会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定2	平成26年度六戸町国民健康保険事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定3	平成26年度六戸町国民健康保険病院事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定4	平成26年度六戸町下水道事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定5	平成26年度六戸町農業集落排水事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定6	平成26年度六戸町介護保険事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定7	平成26年度後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定8	平成26年度六戸町霊園事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
議案37	青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案38	六戸町個人情報保護条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案39	六戸町手数料条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案40	六戸町税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案41	平成27年度六戸町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案42	平成27年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案43	平成27年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案44	平成27年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案45	六戸町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意	
議案46	工事の請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案47	六戸町長等の給料の特例に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

議会のうごき (27年6月～8月)

7月

- 9日 県下町村議会議員研
- 2日 議会広報委員会
- 28日 三沢地区消防団連合 観閲式
- 25日 総務常任委員会 経済産業民生常任委員会
- 23日 第14回JAおいらせ 通常総代会
- 19日 県町村議会議長会臨時総会
- 9日 議会広報委員会
- 5日 産業民生常任委員会 全員協議会
- 4日 第3回六戸町議定会 例会(～9日)
- 1日 議会運営委員会 議員互助会総会

6月

- 4日 第6回六戸町長杯グ ラウンド・ゴルフ交 歓大会
- 23日 北奥羽開発促進協議 会定例総会
- 16日 八戸圏域水道企業団 視察研修
- 10日 修会

---

8月

- 29日 上北郡町村議会議長 会定例会
- 28日 東京都狛江市議会来 町(六戸町の電子投 票視察)
- 24日 サマーフェスティバ ル(～25日)
- 23日 全員協議会
- 22日 六戸町民運動会
- 15日 六戸町成人式
- 19日 自治体向けタブレッ トICTセミナー
- 27日 県下町村議会広報研 修会
- 31日 議会運営委員会 町側による決算説明 会



きゅうでん しんいち  
久田 伸一 議員

# 来期町長選の出馬を問う

立候補する決意、固めた — 町長

**問** 来年1月に行われる町長選挙だが、町長の考えを伺いたい

**町長** 今日までの各施策の一層の充実・強化のため、立候補する決意を固めました。

**問** 他市町村との差別化を図る上で、どのような考えで取り組むか

**町長** 現在の県町村会長の会長及び全国町村会の副会長という恵まれた立場を最大限生かし、基本的な考え方・ポイントをいち早く理解し、周りの変化に遅れることなく、住民のために方向性を定めたい。

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することをいいます。その内容を要約してお知らせします。

## 六戸ブランド

### 研究会の展望は

活動に期待し、支援つづける — 町長

**問** 六戸ブランド研究会を立ち上げ、1年半になるが、具体的な販売戦略はどのようになっているか

**町長** 今は、初期段階めたばかりです。動き始めた人たちの活動を土台とし、今後押し出されてくるトータル的な魅力ある六戸ブランドに期待したい。

**問** 結構な予算を使っているのに、研究だけで終わらせないようにはしてほしい。2, 3年後には成果を

**町長** 活動している方々は、そのことを理解していますので、しばらくは支えながら頑張りを拝見させてもらいたい。



六戸ブランド化セミナーの様子

# 農業者専用の相談室を設けては

空きスペースで対応できるか検討 — 町長

**問** きめ細やかな指導・相談のため、専用の相談室が必要では

**町長** 現在の相談室は福祉課と兼用で利用しており、手狭なことは理解しています。産業課内に新たに設けることはフロアの状況から難しいと思われるので、庁舎内の空きスペースで対応できるか、速やかに検討します。



現在の相談室





かわの 河野 ゆたか 豊 議員

# 定住促進新築住宅 補助金の継続は

## 来年度以降も継続 — 町長

**問** 定住促進支援事業を推進しているが、どれくらい的人口増加を望んでいるか

**町長** 六戸町第4次総合振興計画では人口一万人維持の施策を掲げている。

一人でも多くの方が六戸町に住んでいただけるよう諸施策を実施していきます。

**問** 定住促進新築住宅建設補助金は今年度末で終了するが、継続の考えはあるか

**町長** 来年度以降については財政状況を見ながらになりますが、継続実施を考えています。

**問** グランハートビルズ小松ヶ丘移住促進協議会と町のかかわりはあるか

**町長** 町としては直接、内容的な意味合いに関与はしていませんが、人口減少に歯止めがかかっているのは、この協議会の販売努力によりなされていると思います。町としては情報交換を行い必要な際の協力はしたいと考えています。

**問** 小松ヶ丘移住促進協議会でフェア等やった時に町も参加して積極的に情報発信すべきでは

**町長** 営業的な所に役所が行くわけにはありませんので、何かありましたら遠慮なく役場に相談してくださいとお話しています。



定住促進が進む小松ヶ丘地区

# 小松ヶ丘公園に トイレの設置を

## 今後設置を検討していくー町長

**問** 地域コミュニティを高めるため、みはらし公園でバーベキューをやっている、その時、水がないのが一番困る話があります。

トイレも要望してまいります。その前に水道の設置をお願いしたい

**町長** 安心して暮らせる環境を与えてあげたいと思います。お金がかかるからだめではなく、本来に必要な物という捉え方で対応してまいります。利用状況等を調査して対処します。

**建設水道課** 小松ヶ丘には9か所の公園があります。その内ひばり公園とさくら公園には設置してありますがいたずら等や利用価値がないので現在は止めています。



みはらし公園



たねいち まさたか  
種市 正孝 議員

# 子ども達の学力と生活習慣は

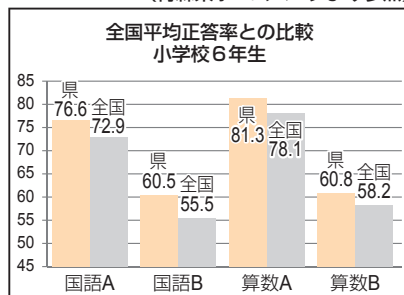
県平均を上回る成績・  
落ち着いた家庭生活 — 教育長

生活習慣については全国と比較して家庭で学校での出来事を話す回数が少ないなどの項目も見られるが、全般的に小・中学生ともに落ち着いた家

**問** 全国学力学習状況調査から考察される町の学力レベルと、生活習慣は

**教育長** 学カレレベルは小学生については、全国調査、県の調査においても多くの教科で県平均を上回る好ましい状況。中学生については県平均を上回る教科もあるが、いま一步という状況です。

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果  
(青森県ホームページより参照)



家庭生活を過ごしていると考えている。

**問** 町全体で子供たちを応援する為に各調査結果の公表は出来ないか

**教育長** 大きい市町村であれば各校が推測される事が無いが当町は中学校が2校しかなく数値の公表は少し考えさせて頂きたい。

しかし、時代の流れをくみしながら、六戸町では町民にどういう伝え方がベターなのか、求められているか、検討の段階に入っている。

## 町の奨学金制度の対象学種 拡大と返済額の一部免除 帰ってきたら減額するとか言うべきではない — 町長

**問** 町の奨学金制度の利用状況は

**教育長** 平成23年から利用者数13名、現在の返済者数24名。返済状況も順調である。

**問** 対象学種を現況の四年制大学から短大・専修学校まで拡大出来ないか

**教育長** 高校卒業後の進路データから母集団(募集枠)が1.8倍に増えてしまう。短大・専修学校まで拡大した場合のシミュレーションはしていないので何とも言えない。

**問** 若者の定住促進の為、奨学金利用者が町へ帰ってきた際には奨学金返済の一部免除の制度を設けては

**町長** 公正平等の原理から今の定めに基づいて対応していかざるを得ない。町に帰って来れば返済額を減額しますというようなことは、言うべきではない。減額の為に、地元に戻るのではなく帰って何かをする目的意識を期待したい。



8月7日に実施された弘前大学のオープンキャンパス  
六戸中・七百中の2年生が参加

# 六戸町の水道はどこから？



## 八戸圏域水道企業団視察研修

7月16日、八戸圏域水道企業団へ研修視察を行いました。

① 資材備蓄センター  
(八戸市多賀台地区)

八戸圏域水道企業団は、八戸市を中心とした7市町村の水道を一つにまとめた事業体(昭和61年からスタート)で、六戸町も構成団体の一つです。今回は、主に3つの施設を視察しました。

平成27年3月に完成した施設で、災害時に迅速な復旧資機材の支援が可能となり、北奥羽地区の『災害復旧の拠点施設』として重要な役割を果たしている。

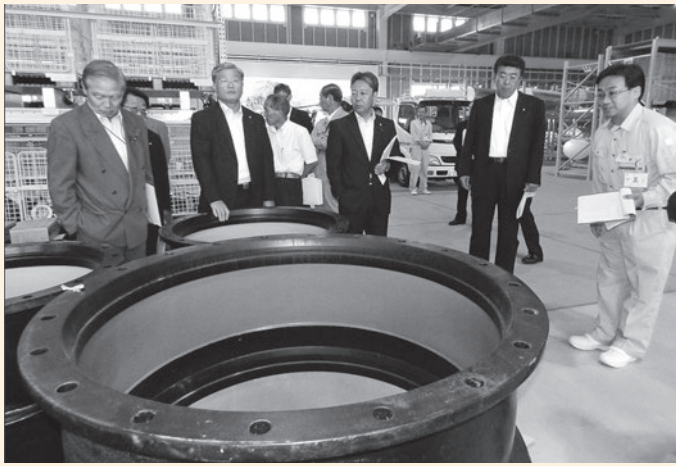
② 白山浄水場  
(同市白山台地区)

県南地域を流れる馬淵川系と新井田川系を合わせた浄水処理施設で、圏域内最大の浄水場。より安全でおいしい水の安定供給に向けて、様々な取り組みを見る。

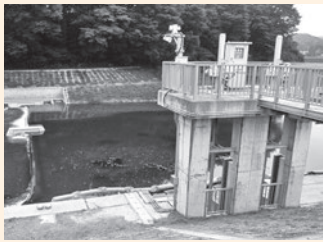
③ 是川ポンプ場  
(同市是川地区)

新井田川に建設された世増ダムから白山浄水場へ原水を送る施設。この施設によって、馬淵川と新井田川の両方の水で水道水を作ることが可能になった。

六戸町の皆さんが毎日使っている水は、奥入瀬川ではなく、馬淵川と新井田川の水から作られています。



▲資材備蓄センターにある水道管修理用資材を囲んで。水道管のほか、非常用備蓄水(ペットボトル)を最大6万本を備えている。



▲是川ポンプ場に併設している取水堰(川の水を堰上げし、取水しやすくする施設)。この水がポンプアップされ白山浄水場へ送られる。



▲白山浄水場の水をろ過する過程の中の一つ。安心して飲める水道水を作るために、多くの施設や人の手で成り立っている。



▲水を浄化するために使用する薬剤などの説明を受ける。

## 馬淵川と新井田川の水から作られています

### 分かりやすい紙面を学ぶ

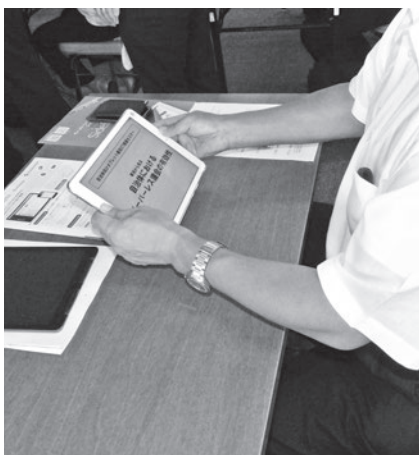
～議会広報研修会～

8月27日、青森市で議会広報研修会が開かれ、議会広報委員会の杉山委員長と種市副委員長が参加しました。近隣の議会広報紙を取り上げ、手法や基本的な考え方を学びました。ろくのへ議会だよりは、より分かりやすく読みやすい紙面を目指します。

### タブレット片手に研修参加

～議会運営委員会～

8月19日、議会運営委員会(下田敏美委員長)は青森市で開催されたタブレット端末を使ったICTセミナーに参加しました。議会改革の一環として、紙の削減効果(ペーパーレス)を狙うもので、端末の使用形態や操作方法を学びました。タブレット端末の導入はまだ未定ですが、議会の新しい流れに触れ、将来の可能性を感じ取りました。



▲タブレット端末の有効性について検討が必要

# 民声の町

まちのために  
がんばっている人

町民の皆さんが六戸町のためにがんばっています。その中で、様々な分野からピックアップしてご紹介いたします。今回は、渡辺俊一さんにお話を伺いました。

## 次の世代へ伝えていくのがわたしの使命

### 渡辺 俊一さん

プロフィール(わたなへ・としかず)  
南町地区在住。56歳。町内で理容店を経営。9月に行われた南部祭囃子大競演会では、昨年まで副実行委員長として活躍。また、昨年、有志15人で六戸ブランド研究会を立ち上げ、町の特産品研究を重ねている。六戸産の特産物を題材に巻いたロックンロールが現在の1押し。父、母、姉、妻の5人暮らし。趣味はボウリング。



「やればよいよね」から「やってみよう」へ

「祭囃子大競演会は今年で7回目ですが、そもそもきっかけは？」

渡辺…山車祭りは県南地方の独特のまつりです。内輪で「一堂に集まればおもしろいよね」って話が出ていて、「自分たちでやってみようか！」と動いたのがきっかけです。

最初はメイプルタウンフェスタの企画の一つで、文化ホールでやりましたが、会場に入れない人が大勢いました。

「多くの人の来場とは、逆にうれしい悲鳴ですね」

渡辺…そうですね。予想はしていましたが、あまりにもすごくて…。次の年から場所を変え、総合運動公園に移しました。町にもお願いして、予算をつけていただいて、ステージも町内に募集をして山車を作りました。

今、文化ホールでやっている「かえで組」はこれが原点で、「囃子や」と

いう団体も笛や太鼓をやりたい人たちを集めたのも、きっかけは祭囃子だったと思います。

ブランドづくりは世代をつなぐ人づくり

「一方、観光協会や六戸ブランド研究会ができて皆さんで商品開発されていますが、きっかけは？」

渡辺…以前から「六戸は何もない」って言われていますよね。野菜とかシヤモロックとかあります。特産品は、町を外に向けて発信するときに必要なもの。「自分たちで作ろう」というより、「何かほしいよね」って。

「何かほしいよね」って。商工会や農協、町でもいろいろやっていると思うのですが、観光協会では何かできないか？と考えたのがきっかけです。今年2年目で、アドバイザーを決めて、セミナーの参加や視察に行ったりと勉強中で、基礎をしっかりと固めています。

現段階で動けることはやろうと道の駅の方と協力しながら動いています。

「広範囲に活動されていて、家業との両立は大変だと思いませんか？」

渡辺…それ、みんなに言われます。「おめー大丈夫か？」って(笑)わたしの場合恵まれているの

は、30代40代の後輩がいるわけですから。そういう人たちがいるから(自分が)動けたと思います。次を任せられる人たちが控えているので、安心していきます。次の世代に伝えていくという役割をしなければと思っています。

「最後に、何か気がついたことはありますか？」

渡辺…六戸町はすごいところだと思います。我々みたいなものが何かをやりたいときに、きちんと真剣に受け止めて手助けをしてくれる、祭囃子もそうです。他の市町村ではなかなかないって言われます。とてもありがたいと思っています。

### 編集後記

スポーツの秋、芸術の秋、そして食欲の秋、皆さんの秋はどんな秋ですか。

この秋、県産米の新ブランド「青天の霹靂」が、一般消費者に向けて販売されました。この米は約十年の歳月をかけて食味にこだわり開発され、昨年、食味試験で稲作関係者の念願であった特Aを獲得しました。

六戸町でも、農商工の垣根を越えた若い方々が集まり地域の特色を活かした「六戸新ブランド」の為、研修、開発をなされています。近い将来、「六戸と言えば・・・」と言われるような商品に出合える日が訪れることでしょう。

その日が楽しみです。  
種市正孝

### 議会広報委員会

委員長 杉山茂夫  
副委員長 種市正孝  
委員 母良田昭

河野豊  
川村重光  
高坂茂

発行責任者 長 円子徳通